

学校長あいさつ



学校長 町田 裕

本校は、沖縄県本島北部の最初の養護学校として、昭和51年4月20日に名護市宇茂佐の地に開校し、創立41周年を迎えております。開校当初は、本島北部12市町村に居住する知的に障害のある児童生徒を対象とし、小学部と中学部2学部だけの設置となっておりました。昭和54年養護学校義務制実施の年度に高等部、さらに翌年度には幼稚部が設置され、幼・小・中・高の一貫した教育を行う学校として整備されました。平成22年度には、知的障害だけではなく肢体不自由の幼児児童生徒も本校教育の対象となりました。さらに、昨年度からは、視・聴・知・肢・病の5障害種を対象とした総合型の特別支援学校となっております。本校校舎は、木々の緑と閑静な住宅に囲まれた場所にあり、遠くには本島で標高第3位の嘉津宇岳を望むことができます。開校当初からの校舎は老朽化に伴い全面改築され、平成16年度には現在の新校舎が完成しており教育環境も益々充実してきています。

今年度は、幼稚部2名、小学部32名、中学部22名、高等部65名の121名の幼児児童生徒が在籍しており、一人一人の障害の状態や発達段階に応じた教育課程の編成を行い、きめ細かな指導を行うことを教職員全員で共通理解し実践しているところです。本校教育は「なかよく げんきに ほがらかに」を合い言葉として幼児児童生徒の生きる力の育成に取り組んでいます。「なかよく」はより良く人との関係が築けること。「げんきに」は心身ともに健康な体をつくること。「ほがらかに」には、常に気持ちを穏やかにし情緒の安定が保てること。と捉えて子どもたちの成長を支援しています。その成長が幼児児童生徒の現在、将来の豊かな生活に繋がっていくと考えています。

本校 PTA は、その活動が認められ平成22年度に文部科学大臣賞を受賞しております。受賞理由としては、「性に関する指導や進路指導」を学校と一緒に取り組んだことやバザー等の収益金でテント一式、大太鼓等を寄贈したことが評価されたものとなっております。そして、平成25年度には、生徒・職員・保護者が一丸となって取り組んだ緑化活動が評価され、沖縄県主催の緑化コンクールで特選を受賞しております。今後も幼児児童生徒の活動を中心に据え、様々な取り組みを職員、保護者が一体となって進めていきたいと考えております。

障害のある幼児児童生徒のより良い成長、発達のためには、それぞれの学校だけでなく多くの機関、人材の協力、支援が欠かせません。そのため本校は、北部地区における特別支援教育のセンター的機能を発揮し、関係機関や地域との連携に取り組んでいます。多くの皆様が、この HP を通して幼児児童生徒の学習や教育活動をご覧になり、本校並びに地域の特別支援教育について益々ご理解いただくことをお願い申し上げます。